

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「肝炎ウイルススクリーニング検査陽性患者に対するチェックシステムの構築と拾い上げの効果について」へのご協力のお願い

研究機関名 松阪中央総合病院

研究責任者 稲垣悠二

1) 研究の概要

肝炎ウイルスを罹患することにより肝硬変や肝細胞癌を発症することがあります。しかしながら肝炎ウイルス検査が陽性にも関わらず指摘されずに診断・治療に至らない事例が全国的にも多数報告されており問題視されております。当院で肝炎ウイルス検査結果をチェックするようになり、段階を経ながら感染状態が不明な症例では主治医への報告、検査や診察を勧めることとしてきました。本研究では肝炎ウイルス検査の陽性状況や受診勧奨の効果を検討することとします。

2) 研究の方法

・対象

HBs 抗原または HCV 抗体が陽性であった症例を対象とします。

・研究期間

期間については肝炎ウイルス検査結果の確認を開始した 2019 年 10 月以降とします。

・研究方法

カルテ情報、血液検査所見等の診療情報を使用します。

3) 外部への試料・情報の提供

なし

4) 個人情報の保護

研究に使用する情報から個人を特定できるものを削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は使用しません。

5) 研究資金源・利益相反

なし

問い合わせ先

松阪中央総合病院 消化器内科 稲垣悠二

電話：0598-21-5252